猪支
のびのびいなっ子

発行所
福島県立猪苗代支援学校
969-3283
耶麻郡猪苗代町大字長田
字並柳西 3966-2
TEL 0242(65)2151

「子どもたちが居てこその学校」

校長　本田知史



五月二十五日学校再開から本日まであらためて学校の良さ、さらには子どもたちが居てこその学校であると再認識をいたしました。「コロナ禍だから」と思考するとどうしても出来ない理由を考えがちになります。「コロナ禍だからこそ」と思考すると今出来ることを考えたり、工夫したりするようになります。たった二文字「こそ」を加えるだけで考え方が大きく変わります。猪苗代支援学校では、もちろん後者の考え方で教職員が一丸となって前例のない一学期に取組んで参りました。

児童生徒には学校教育目標の「じょうぶなからだをつくろう」と関連付けて、コロナウイルスと免疫の力について話をしました。マラソンや体を動かして体力をつけることと同じくらい「好き嫌いなく、しっかり食べること」「しっかり寝ること」「規則正しい生活を送ること」今まで当たり前に行っていたことを改めて意識して取組むようにし、今まではお家の人や先生に言われてからやってきたものを少しずつ自分で考えて自分から進んでやることを約束しました。夏休みは短くなりますがどうか家庭でも子どもたちが自分で考え、進んでやることについて見守っていただければと思います。

さて、学校のようすは、小学部の皆さんは昼休みに時間を忘れて体育館で汗だくになって本気で遊んでいます。いなっ子本来の姿です。よく学び、よく遊んでいます。

中・高等部の皆さんは校内実習に取組みました。昨年度の反省をもとに目標を設定し、一定時間集中して箱折作業を行いました。初日と最終日で顔つきが変わるくらいの気持ちの入れ具合でした。働く姿は美しいものです。

七月四日授業参観日に、本校の念願であった教育活動後援会設立総会が開催され、承認多数で教育活動後援会が設立いたしました。多くの方々に本校の子どもたちの頑張りについて知っていただくとともに、継続的に特別支援教育の振興と充実を図ります。更なるご協力をお願いいたします。

「第二回授業参観・懇談会」

七月四日(土)に第2回授業参観・懇談会を実施しました。お忙しい中、ご来校いただきましてありがとうございました。第一回については四月に予定されていましたが、新型コロナウイルスの影響で中止となりました。しかし、第二回については、マスク着用や手指消毒の徹底、ソーシャルディスタンスを意識した参観形式、三密を避ける呼びかけ等、感染症対策を講じることで実施することができました。来校時には検温していただいたり、校舎内では児童生徒との距離を保っていただいたりするなど、ご不便をお掛けしたと存じますが、児童生徒にとって保護者様に授業の様子を見てもらえたことはとても嬉しかったようです。

これからも、児童生徒の頑張る姿を共有できる機会を大切にしたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

「第一回PTA奉仕作業」

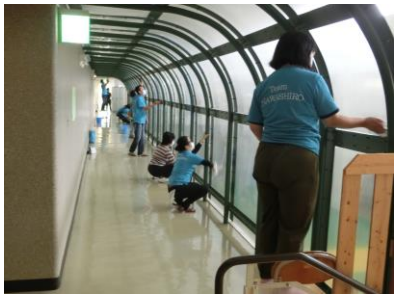
今年度は当初、三回の奉仕作業を計画しておりましたが、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、二回の奉仕作業に変更となりました。

第一回目となった七月四日(土)は、荒天ということもあり、校舎内のクリーン作戦を行いました。

クリーン作戦は、保護者の方が活動場所を各学部で分担して取り組みました。小学部保護者の皆様には玄関周辺掃除や会議室の窓ガラス拭き、中学部保護者の皆様には二階北側廊下のアクリル板拭き、高等部保護者の皆様には高等部校舎の窓ガラス拭きに取り組んでいただきました。短い時間の中でも保護者の方々が一生懸命に取り組んでくださったおかげで、校舎内がとてもきれいになりました。ありがとうございました。第二回PTA奉仕作業は、九月二日(水)に行う予定です。次回もご協力をよろしくお願いいたします。







小学部

「移動図書館訪問による読書活動」

六月二十三日(火)に、移動図書館あづま号が来校しました。今年は、六月と十一月の二回、移動図書館が来校する予定になっています。毎回、子ども達は、あづま号が来るのをとても楽しみにしています。一学期は、様々な行事の中止や延期が続き、小学部として初めての行事でもあったため、子ども達は、目を輝かせながら一冊一冊手に取って本を選んでいました。あづま号のバスの中やコンテナの中には、子ども達がリクエストした本や県立図書館の職員さんのおすすめの本などがたくさん積み込まれ、全部で百二十一冊の本を借りることができました。中には、お目当ての本がないと、「つぎはこの本をもってきてください」とお願いをしたり、「おすすめの本を教えてください」などと職員さんに聞いたりする子ども達もおり、回数を重ねるごとに本に対する興味関心が広がり、積極的に本を借りて読もうとする姿に成長を感じました。今回は、感染症予防対策として、マスクの着用や消毒など県立図書館の職員さんにもご協力をいただきながら、楽しいひとときを過ごすことができました。











中学部

「野菜について知ろう」

今年は、中学部の畑で様々な野菜を育てることになりました。総合的な学習の時間で、苗植え、草むしり、収穫、そして収穫祭での調理までを学習します。生徒はとても積極的に取り組み、どの活動も楽しみにしています。中でも収穫の喜びが一番大きいようです。

学習のテーマとして「地上の野菜と地中の野菜」を掲げ、地上の野菜としてきゅうり、なす、トマト、すいかを、地中の野菜としてにんじん、だいこん、じゃがいもを植えました。生長によっては繊細な手入れが必要なものもあるため、こまめに観察をしたり、水やりをしたりして収穫を迎えたいと思います。

早速、六月からはきゅうりとなすが、七月からは大根が収穫できるようになり、全員でおいしくいただいています。すくすく育っている野菜ですが、せっかく植えたじゃがいもが全て掘り起こされるという事件が起きました。植え直して動物被害が少なくなるようにしてからは被害がありません。他の野菜も実りの季節まで、学部全員で協力して育てていきます。























「語学指導等を行う外国青年招致事業」

六月三十日(火)ALTのチェイス先生をお招きしました。児童生徒はアメリカ出身の先生を大歓迎。「ハロー!」と言って話しかけたり、昼休みに一緒にバスケットボールをしたりしました。

小学部では、音楽の時間に「head, shoulders, knees and toes」の曲に合わせて体を動かしたり、動物バスケットで、いろいろな動物の名前を英語で教えてもらったりしました。中学部では、総合的な学習の時間に英語3択クイズをしました。チェイス先生が英語で言ったものは何かを選ぶクイズです。食べ物や電化製品の名前など、生徒が知っているものもたくさんありました。高等部では、BC音楽の授業に参加していただき、一緒に楽器を演奏したり、踊ったりしました。歌詞にある「『虹』って『2時』のこと?」など、チェイス先生がジョークを言う場面もありました。選択英語の授業では、生徒が一人ずつ英語での自己紹介に挑戦。自分の名前と年齢がチェイス先生に伝わると嬉しそうでした。また、チェイス先生が言う英語での数字を聞き取ってビンゴゲームもしました。生徒たちは、もっと英語で話してみたいという思いをもったようです。

チェイス先生と貴重な時間を過ごした児童・生徒からは、「また来て欲しい。」と再会を望む声も聞かれました。



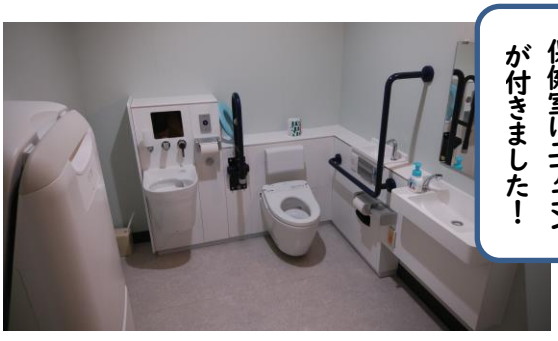




「第一期工事が終了しました!」

工事により新しくなった箇所の一部をご紹介をします。





保健室にエアコンが付きました!



人感式センサー付きの照明です。





スロープの通路ができました。

「交通安全週間」

生徒指導部

六月二十二日(月)～二十六日(金)までの五日間を交通安全週間として自立活動エリアに模擬信号機を設置し、学級ごとに横断歩道の渡り方を体験しました。

DVDを見て交通ルールの学習を行った学級や、模擬信号機を体験した後にワークシートなどを使って振り返りを行った学級など様々でしたが、何度も体験していくうちに左右の確認を自分でしっかり行うことが出来てきた児童・生徒が多く見られました。

今年度は福島トヨタ様より横断旗を5本寄贈いただきました。校外学習で近隣へ歩いて出かける際や、次年度の交通安全教室などで活用していきたいと思います。



















お友達(ウサギ一羽)が増えました！

第一期工事が終了してから間もなく、学校の敷地内でウサギが目撃されるようになりました。天気の良い日には姿を見せてタンポポの花を食べています。児童・生徒、職員全員がその姿を見て癒されています。



編集後記

学校新聞六十九号は、一学期の行事を載せました。児童・生徒の輝く姿をご覧ください。

明日から夏休みです。健康に注意して楽しい思い出を作りたいですね。